中国研究集刊 ★号（第★★号） 令和★年八月　★★―★★頁

　　中国古代思想における○○の研究

　　　　―『△△』を中心として―

大 阪　太 郎

序　論

本稿は、中国古代思想における○○について、『▲▲』を中心に考察したものである（注１）。

一　○○について

あああああああああああああああああああああああああああああああああああああああああああああああああああああ……

いいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいい（※引用は二字下げ、前後一行アキ）（注２）

ううううううううううううううううううううううううううううううううううううううううううううううううううううううううううううううううううううううううううううううううううううううううううううううううううううううううううううううううううううううううううううううううううううう……

二　『△△』について

　ええええええええええええええええええええええええええええええええええええええええええええええええええええええええええええええええええええええええええ……

三　□□に関する考察

　おおおおおおおおおおおおおおおおおおおおおおおおおおおおおおおおおおおおおおおおおおおおおおおおおおおおおおおおおおおおおおおおおおおおおおおおおおおおおおおおおおおおおおおおおおおおおおおおおおおおおおおおおおおおおおおおおおおおおおおおおおおおおおおおおおおおおおおおおおおおおおおおおおおおおおおおおおおおおおおおおお……

結　論

　以上、中国古代思想における○○について考察を加えてきた。その結果、▽▽について明らかになった。××については今後の課題としたい。

　　注

（１）○○に関する研究の中で、代表的な論考を掲げると、次の通りである。かかかかかかかかか……

（２）ききききききききききききききききききききききききききききききききききききききききききき……

（３）

（４）

（５）

（６）

（７）

（８）

（９）

（10）

（11）

（12）

（13）

（14）

（15）

（16）

（17）

（18）

（19）

（20）

（21）

（22）

（23）

（24）

（25）

（26）

（27）

（28）

（29）

（30）

（31）

（32）

（33）

（34）

（35）

（36）

（37）

（38）

（39）

（40）

（41）

（42）

（43）

（44）

（45）

（46）

（47）

（48）

（49）

（50）

（51）

（52）

（53）

（54）

（55）

（56）

（57）

（58）

（59）

（60）

（61）

（62）

（63）

（64）

（65）

（66）

（67）

（68）

（69）

（70）

（71）

（72）

（73）

（74）

（75）

（76）

（77）

（78）

（79）

（80）

（81）

（82）

（83）

（84）

（85）

（86）

（87）

（88）

（89）

（90）

（91）

（92）

（93）

（94）

（95）

（96）

（97）

（98）

（99）

（100）

【附記】

　本研究は、＠＠助成による研究成果の一部である。

|  |
| --- |
| 大阪 太郎（はんだい・たろう）　一九八〇年生まれ。大阪大学大学院文学研究科助教（※院生の場合、「大阪大学大学院文学研究科博士後期課程」等。学振ＤＣとの併記可）。専門は中国古代思想史。共著に『中国思想基本用語集』（湯浅邦弘編著、ミネルヴァ書房、二〇二〇年三月）、主要論文に「清華簡『治邦之道』の思想的特質」（『中国研究』第五〇号、二〇一九年六月）など。 |

※本文中に挿入する注番号は、左をコピー＆ペーストしてください。

　未使用分は削除してください。

（注１）（注２）（注３）（注４）（注５）（注６）（注７）（注８）（注９）（注10）

（注11）（注12）（注13）（注14）（注15）（注16）（注17）（注18）（注19）（注20）

（注21）（注22）（注23）（注24）（注25）（注26）（注27）（注28）（注29）（注30）

（注31）（注32）（注33）（注34）（注35）（注36）（注37）（注38）（注39）（注40）

（注41）（注42）（注43）（注44）（注45）（注46）（注47）（注48）（注49）（注50）

（注51）（注52）（注53）（注54）（注55）（注56）（注57）（注58）（注59）（注60）

（注61）（注62）（注63）（注64）（注65）（注66）（注67）（注68）（注69）（注70）

（注71）（注72）（注73）（注74）（注75）（注76）（注77）（注78）（注79）（注80）

（注81）（注82）（注83）（注84）（注85）（注86）（注87）（注88）（注89）（注90）

（注91）（注92）（注93）（注94）（注95）（注96）（注97）（注98）（注99）（注100）

【表や画像の表示方法（一例）】

（図１）研究室の貴重資料

